

関西だより

■大阪支局

☎06-6344-3802

E-mail:cs-osaka@wlpn.or.jp

関西だより

KANSAI DAYORI



村岡花子夫妻(右)と賀川ハル夫妻の写眞。賀川記念館の「花子とハル展」

## 村岡花子と賀川ハルの愛と仕事 賀川記念館の「花子とハル展」

NHKの人気ドラマ「花子とアン」のモデル村岡花子と賀川豊彦の

妻、賀川ハル(春子)は親戚だ。花子の夫の做三とハルはいとこにあたる。同じ信仰を持ち、明治、大正、昭和を懸命に生き抜いた2人の女性の人生をたどる「花子とハル展」が、神戸市中央区賀川記念館で10月31日(迄)まで開かれている。入場料大人300円、学生100円。

社内での礼拝説教を務めた賀川豊彦と知り合う。做三の父の葬儀が横浜の指路教会で行われたとき、司式をしたのが豊彦だ。ハルは豊彦の暮らす神戸のスラム街で共に伝道と救済に尽力する。8千人もが住む貧困の町は、名だたる社会運動家もおぞけをうつすさまじきだったという。ハルはスラムから海外まで献身的に活動する豊彦の人生を支え、夫の死後は事業を

引き継いで94年の生涯を走り続けた。

花子は10歳から約10年間東洋英和女学校で教育を受け、教文館で働いているときに村岡做三と出会い結婚する。執筆、翻訳、ラジオ出演と活躍するが、今も愛される訳本は戦後の自由な時代になつて次々と訳されたものだ。美しい日本語で綴られた花子の翻訳で、戦後の子どもたちは育てられた。

の子どもたちに愛の意味を、物語を通じて教えてくれた花子さん」と紹介している。2人の接点は少ないが「人を差別しない、男女平等という考え方は共通している」と、記念館は説く。それぞれが乗り越えた信仰の試練、夫婦の愛、遺業が、当時の写真や資料、手紙などを通して伝えられる。福音印刷会資会社が印刷した聖書も展示している。午前10時〜午後5時。休館日は月曜日(祝日は開館)。

賀川記念館 078・221・3627。